

「地域の活性化と理科の授業」

第10回全国大会 2009年1月11日・12日

主催：NPO 法人理科カリキュラムを考える会

共催： 東京理科大学大学院理学研究科理数教育専攻
東京大学教養学部附属教養教育開発機構

協賛： ケニス(株)・実教出版(株)・(株)ナリカ・(株)リバナス・(株)ワイズポケット
(株)ワオ・コーポレーション

会場 東京理科大学神楽坂校舎9号館4階

プログラム

第1日 (1月11日) 13:00～18:50

◆フィンランドの理科教育

鈴木 誠 (北海道大学)

◆日本の教育改革の課題

早川信夫 (NHK 解説委員)

◆地域の「財産」を継承・活用する：富山「理科支援員」事業の挑戦

澤柿教誠 (元・上市町教育長)

林 衛ほか (富山大学科学コミュニケーションゼミ)

◆授業のベテラン—玉田泰太郎氏の授業からどう学ぶか

小佐野正樹

◆授業研究の先駆者—玉田泰太郎氏の研究からどう学ぶか

滝川洋二

第2日（1月12日）9:00～16:00

◆講演「新学習指導要領の課題」

清原洋一（文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官）

◆グループ討議「新学習指導要領を実施に移す上での現実的な課題」

◆ポスター発表

◆カリキュラム開発グループからの報告

小中高理科カリキュラム研究会

科学カリキュラム開発プロジェクト

◆世界の中学教科書の比較

石渡正志 他

◆JST委託研究の研究成果報告

滝川洋二・長濱元・小林昭三